



1 スクール・ミッション

伝統の『至大至剛』の精神の下、豊かな教養と人間性、高い志を身に付け、創造的・意欲的に行動し、他者と協調・協働して、未来志向で責任をもって未来貢献できる人材を育成し、生徒の可能性を最大限に伸ばさせる学校

2 教育目標

3 スクール・ポリシー

<p>「豊かな心 知の創造 未来貢献」</p>	<p>(1) グラデュエーション・ポリシー 確かな学力の向上と教育DXの推進やグローバル教育、STEAM教育、アントレプレナーシップ教育の充実、豊かな人間性の育成を通じて、創造的思考力、課題解決力、人間関係形成力、意思決定力を身に付けさせる。</p>	<p>(2) カリキュラム・ポリシー リベラルアーツと探究学習を基本とし、「学ぶ・生きる・鍛える」の3つの柱で、体験の重視、九段探究プランの実施、学校行事等の充実をもって6年間一貫通貫した教育カリキュラムを編成・実施する。</p>	<p>(3) アドミッション・ポリシー 思いやりの心と好奇心をもち、何事にも主体的に取り組むやりの心と強い意志があり、将来を見通した目標設定と行動選択ができる人になる意欲ある児童を求めます。</p>
-------------------------	---	---	---

4 中期的目標とその達成に向けた方策

「千代田区教育委員会教育目標」「千代田区立中等教育学校基本計画」及びスクール・ミッションに基づき、教育のフロントランナーとして、新たな探究プログラムの開発・計画・実施・評価や教育DXの推進を通じて、6年間を一貫通貫した特色ある教育活動を展開・発展させ、教育先進校モデルとなる学校経営の実現を図る。

<p>(1) 確かな学力の向上(「学ぶ」の柱) ①6年間を見通した継続性のある教育課程を編成し、確かな学力を育成する。②STEAM教育の充実と教科横断的な学びの実現を図る。③教育DXの推進により個別最適な学びと協働的な学びを実現する。④ラベリング・リストの活用による自学自習の促進と学習支援体制の充実を図る。</p>	<p>(2) キャリア教育の充実(「生きる」の柱) ①自己実現を目指して主体的に進路を選択していく態度を育成。②TEAM・グローバル・アントレプレナーシップの3領域で「探究人」を育成する。③海外6大学との指定校協定を基盤としたプログラムを推進する。④卒業生や地域の教育資源を活用した教育プログラムの改善・充実を図る。</p>	<p>(3) 豊かな人間性の育成(「鍛える」の柱) ①自らを律し、思いやりの心や感謝する心など、豊かな心を育成する。②体育祭・九段祭・至大荘行事等を通じて、帰属意識と互いに高め合う集団を形成する。③部活動の充実により文武両道の精神を涵養する。</p>	<p>(4) 教育DXの推進 ①生成AIパイロット校としての研究・実践を深化させる。②DXハイスクールとして高性能PCやデジタルファブリケーション機器等の先端機器を整備する。③生成AIを安全かつ効率よく活用できる環境を整える。</p>	<p>(5) 教職員の組織力を高める ①「九段ブランド」を生かした学校経営と組織体制を構築する。②管理職候補者の発掘・育成に努め、計画的な人材育成を推進する。③セブンセブン取組による働き方改革を一層推進する。④連携校との相互活動及び産官学連携の拡充を図る。</p>
--	--	---	---	--

5 今年度における取組目標とその達成に向けた具体的方策

領域	(1) 教育活動の目標と方策	(2) 重点目標と方策
ア 学習 指導	<p>【取組目標】 授業を学習指導の根幹とし、生徒・教職員が一体となった授業を展開しながら、「知の創造」へとつなげる。</p> <p>【具体的方策】 ①スクール・ミッション、スクール・ポリシー、グランドデザインに基づいた教育課程を編成・実施し、生徒一人一人の意欲や学力に応じた指導を充実させ、高い学力とグローバルリーダーとしての資質・能力を身に付けさせる。 ②令和の千代田型学校教育の先進校として「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を図る。タブレット端末やクラウド環境を活用し、生徒の学習データの分析に基づく指導改善を推進する。 ③九段探究プランを中核に、STEAM教育・グローバル教育・アントレプレナーシップ教育の3領域を有機的に連携させ、教科横断的な探究活動を通じて創造的思考力と課題解決力を育成する。 ④各教科における学びと総合的な学習の時間・総合的な探究の時間との連動を図り、「九段まなびスパイラル」による学びの循環を実現する。 ⑤KUDAN CAN-DO リストに沿った段階的な英語教育を推進し、イングリッシュシャワーやオンライン交流を通じて実践的な英語コミュニケーション能力を育成する。 ⑥少人数指導やティームティーチング、放課後スタディ等による個に応じた指導を充実させ、基礎・基本の定着と応用力の育成を図る。 ⑦文部科学省生成AIパイロット校として、先端的なICT活用教育の研究・実践を推進し、その成果を全国に発信する。 ⑧高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)指定校として、高性能PCやデジタルファブリケーション機器等の先端機器を活用した教科横断的な学習を展開する。</p>	<p>【重点目標と方策】 ア 教員の指導力の向上：校内研修会・授業研究を計画的に実施し、教科指導における専門性と指導技術の向上を図る。 イ 九段探究プランの推進：「自分らしさを発見し、未来を創っていく探究人」を育成するプログラムの改善・充実を図る。</p> <p>【数値目標等】 ○自学自習に関する肯定的割合 85%以上 ○ラベリング・リストの活用者の割合 100%</p>
イ 生活 指導	<p>【取組目標】 規律ある生活を基盤とし、自己陶冶から豊かな心を身に付け、互いに助け合い高め合う集団を形成する。</p> <p>【具体的方策】 ①生活指導がすべての指導の根幹であることを念頭に、教職員が一致して規範意識を高める指導を行い、伝統である「他者への思いやり」を一層高め、あらゆる場面で豊かな心の育成に努める。 ②生徒に寄り添い、生徒と向き合う指導を心がけ、自律した生徒を育成する。「至大至剛」の精神に基づく基本的生活習慣の定着を図る。 ③いじめのアンケートを年3回以上実施し、いじめの早期発見・早期解決に当たる。保護者や生徒自治会との連携によるいじめの防止策を強化する。 ④SNS等への書き込みによるトラブルの防止や、情報モラル教育の充実を図り、携帯電話等を適切に利用することができる資質・能力を養う。 ⑤特別な支援を必要とする生徒に対する適切な手立て(個別支援計画の活用等)を通して、インクルーシブ教育の充実を図る。 ⑥学校保健計画に基づく保健指導を推進し、生命尊重と人権尊重の精神の育成を図る。</p>	<p>【重点目標と方策】 ア 基本的生活習慣の定着：学級活動・ホームルーム活動・学年集会等を通して社会人として必要なルールやマナーを遵守する態度を身に付けさせる。 イ いじめ防止研修の実施：教職員のいじめ対応力を向上させるための研修を計画的に実施する。</p> <p>【数値目標等】 ○いじめ報告 ゼロ ○ふれあいアンケート 3回 ○いじめ防止研修 1回以上</p>
ウ 進路 指導	<p>【取組目標】 未来志向での高い目標をもち、希望する進路実現に向けて実行するとともに、未来貢献できるグローバルリーダーを育成する。</p> <p>【具体的方策】 ①オンラインデータ等の情報を積極的に活用し、模試分析会や個別ケース会議を充実させ、意図的・効果的な進路指導を実現する。 ②九段探究プランでは、卒業生や地域、千代田区の豊富な教育資源を一層活用した教育プログラムとなるように改善・充実を図る。 ③国際感覚を身に付け、地球規模での課題発見・課題解決を図るとともに、将来を見据えて、未来志向で責任ある未来貢献する行動ができる生徒を育成する。 ④自習室を有効活用し、大学生の自習室サポーターを配置して生徒の自主学習をサポートする。放課後講習・長期休業中の特別講座等の学習支援体制を充実させる。 ⑤先輩に聞く会等を通じて、上級生の受験体験を共有し、後輩の進路意識を高める。 ⑥海外大学への進学も視野に入れた多様な進路指導を行い、ファウンデーション・プログラムやDDPの活用を推進する。</p>	<p>【重点目標と方策】 ア 進路実現に向けた6年間指導計画の策定と業者に頼らない分析会・大学入試検討会等の充実。 イ 大学入学共通テスト、総合型・学校推薦型選抜の受験体制の構築。</p> <p>【数値目標等】 ○大学入学共通テスト 得点率91%以上 10人 ○大学入学共通テスト フル型受検平均得点率70% ○総合型・学校推薦型選抜による国公立大学合格者80%以上</p>
エ 特別 活動	<p>【取組目標】 文武両道の精神で何事にも挑戦し、生徒同士が互いに高め合う場として帰属意識を醸成する。</p> <p>【具体的方策】 ①最先端教育プログラムに基づき、九段探究プランの各学年プログラム(1年「感じる」、2年「踏み出す」、3年「かかわる」、4年「つなげる」、5年「高める」、6年「広げる」)を体系的に実施する。 ②至大荘行事(千葉県鴨川市)等学校行事の継続と見直し及び安全管理の推進を図る。4年生では水泳指導も実施する。 ③体育祭・九段祭(文化祭)・クロスカントリーレース等の学校行事を通じて、生徒の主体性と協働性を育成する。 ④部活動の活性化を図り、前期課程から後期課程への円滑な接続と、持続可能な運営体制を整備する。 ⑤外部機関との連携を充実・開発し、企業訪問、大使館訪問、TGG(東京グローバルゲートウェイ)、ちよだフィールドワーク等の体験的学習の質を向上させる。</p>	<p>【重点目標と方策】 ア 最先端教育プログラム拡充と評価開発：九段探究プランの評価手法を研究・開発し、探究の質の向上を図る。 イ シリコンバレー研修等新規事業の実施：先端的な企業・大学との連携による新規プログラムを開発・実施する。 ウ 外部機関との連携充実・開発：千代田区の教育資源を最大限に活用した教育プログラムを推進する。</p> <p>【数値目標等】 ○探究成果発表会等外部公開 3回以上 ○探究・起業等関連コンテスト入賞者 1名以上 ○シリコンバレー研修参加者 15名以上</p>
オ 健康 づくり	<p>【取組目標】 健康で「知」「徳」「心」「体」のバランスがとれた生徒の育成</p>	<p>【重点目標と方策】 ア SC、SSWとの連携強化及びSSR(スチューデント)</p>

	<p>【具体的方策】 ①学校保健計画に基づく保健指導の推進を図り、生徒の運動習慣の確立と自己管理能力の向上を目指す。 ②スクールカウンセラー等や家庭と連携した心の健康づくりと相談体制を強化する。インクルーシブ教育の充実及び生命尊重と人権尊重の精神の育成を図る。 ③保健体育の授業や学校行事、運動部活動等を通し、運動を楽しみながら自ら体力を高めていく態度を養う。</p>	ト・サポート・ルーム) の利活用を推進する。 【数値目標等】 ○不登校生徒の授業への関係率 100%
カ 広報活動	<p>【取組目標】 生徒の自己肯定感を高めるとともに地域に開かれた学校経営を通じた効果的な広報活動と募集対策を行う。</p> <p>【具体的方策】 ①保護者、地域、入学希望者や千代田区立学校等外部の教職員等への授業公開を実施する。 ②学校経営評議会、KUDAN P.A. (保護者会)、公益社団法人九段、菊友会(同窓会)や地域・企業等と連携した教育活動を積極的にを行い、広報活動を充実させる。 ③ホームページの計画的な更新と九段中等教育内容の広報発信の充実(HP・公開事業の拡充)を図る。 ④様々な分野の大会やコンテストに生徒が積極的に出場するよう支援し、結果を広報に生かす。</p>	【重点目標と方策】 ア 地域や外部人材との連携強化:千代田区の豊富な教育資源を活用した連携事業を拡充する。 イ 九段中等教育内容の広報発信の充実:学校の特色ある教育活動を多様な媒体で発信する。 【数値目標等】 ○受検倍率の向上 3.0倍超 ○学校公開等参加者 2,000人以上 ○ホームページ更新 200回以上
キ 学校経営・組織体制	<p>【取組目標】 教職員の資質能力や指導力である「九段ブランド」を生かした学校経営と組織体制を構築する。</p> <p>【具体的方策】 ①生徒第一・危機管理とコンプライアンス・教育のフロントランナーを経営理念とし、九段中等ブランドの教職員の指導力向上と次代を担う教職員の発掘・育成に努める。 ②千代田区教育委員会との緊密な連携のもと、区のエデュケーション推進と学校運営の改善を図る。 ③学校経営評議会の機能を活用し、外部有識者の助言を学校運営に生かす。</p>	【重点目標と方策】 ア 管理職候補者等受検者の発掘 イ 働き方改革の推進:セブンセブン取組による一層の推進 ウ 連携校相互活動の活性化及び産官学連携の拡充 エ アントレプレナー(起業家)・アントレプレナーシップ研修の実施 【数値目標等】 ○主任教諭受検合格 50% ○50時間以上残業者 0人 ○連携校活動及び連携事業等の実施数 5回以上 ○アントレプレナーシップ等研修 1回以上
ク 国際教育・海外研修	<p>【取組目標】 国際的な視野で物事を考えることができるグローバルマインドをそなえたリーダーとしての資質を身に付ける。</p> <p>【具体的方策】 ①3年全員によるオーストラリア研修旅行を実施(令和8年11月、クイーンズランド州ブリスベン市内高校との交流、7泊8日)。 ②5年全員によるシンガポール研修旅行を実施(令和8年10月、NUS等での研修、3泊5日)。 ③4・5年選抜によるUCLA海外大学派遣研修(令和8年8月、カリフォルニア大学ロサンゼルス校・USC等、8泊9日)を実施。 ④3～5年選抜によるシリコンバレー派遣研修(令和8年9～10月、Google・スタンフォード大学・Design Tech High School等、4泊6日)を実施。 ⑤2～5年選抜による英国語学研修(バンガー大学、令和8年7～8月及び令和9年3月下旬～4月上旬)を複数期にわたり実施。 ⑥ファウンデーション・プログラム(コースA:最大3名まで、コースB:人数制限なし)による国際大学連合加盟大学への進学を支援する。 ⑦DDP(デュアル・ディプロマ・プログラム)を通じて、日米双方の高校卒業資格の同時取得を可能とし、海外大学を含む多様な進路選択を支援する。 ⑧イングリッシュシヤワー(外国人留学生によるホームルーム教室での交流)を活用し、日常的な英語環境を整備する。</p>	
ケ 働き方改革	<p>【取組目標】 教職員のワーク・ライフ・バランスを推進し、教育の質の向上と持続可能な学校運営を実現する。</p> <p>【具体的方策】 ①セブンセブン取組(朝7時前の出勤禁止・夜7時以降の退勤禁止)を徹底し、50時間以上の時間外勤務者ゼロを目指す。 ②業務の効率化と重点化を図り、会議の精選・ICTの活用等による業務改善を推進する。 ③教職員一人一人の状況に応じた柔軟な勤務体制の活用を促進する。</p>	
コ 服務・危機管理	<p>【取組目標】 コンプライアンスを徹底し、安心・安全な学校運営を確保する。</p> <p>【具体的方策】 ①計画的に服務事故防止研修を実施し、個人情報などの不適切な取扱いの防止、体罰や不適切な指導の防止をはじめ、あらゆる服務事故を未然防止する。 ②施設・設備の安全点検と修繕を計画的に実施し、安心・安全な教育環境を提供する。 ③危機管理マニュアルの定期的な見直しと、防災訓練・避難訓練の実施により、緊急時の対応力を強化する。 ④令和8年度は中等教育学校開校20周年周年行事を実施。記念事業の企画・運営を進める。</p>	

6 今年度の重点目標・目標数値等

項目	内容	目標
(1) 学力向上	自学自習に関する肯定的割合	85%以上
	ラベリング・リストの活用者の割合	100%
	教員の指導力向上のための校内研修会の実施	年間3回以上
(2) 進路指導	大学入学共通テスト 得点率91%以上	10人
	大学入学共通テスト フル型受検平均得点率	70%
	総合型・学校推薦型選抜による国公立大学合格者	80%以上
(3) 生徒の心のケア等	いじめ報告	ゼロ
	ふれあいアンケートの実施	年間3回
	ふれあい防止研修の実施	年間1回以上
	不登校生徒の授業への関係率	100%
(4) 募集対策	受検倍率の向上	3.0倍超
	学校公開等参加者	2,000人以上
(5) 探究・特別活動	探究成果発表会等外部公開	3回以上
	探究・起業等関連コンテスト入賞者	1名以上
	シリコンバレー研修参加者	20名以上
(6) 組織体制	主任教諭受検合格	50%
	50時間以上残業者	0人
	連携校活動及び連携事業等の実施数	5回以上
	アントレプレナーシップ等研修の実施	1回以上
(7) いじめや服務事故の未然防止	いじめ・体罰・服務事故等重大事故	0(ゼロ)